

就活丸わかりガイド

2021

就活のウッチー

関西大学法学部卒

中小企業と東証一部上場企業の

人事部で採用担当をし、

学生を採用する側の仕事を7年経験し、

就活の表も裏も熟知しています。

インターンシップで

営業体験、研究体験、エンジニア体験を企画、

さらに数々の就職イベントを開催してきた就活のプロ

です。就職する側、採用する側の両方を知っている

強みを活かして、現在も就活に悩む学生に

アドバイスをしています。

最近では、特に自己肯定感が低くて就活が上手くい

かない方や、繊細な気質に悩む方のサポートにも力

を入れています。



<目次>

- はじめに
- これまでの就活とオンライン就活の違い
- オンライン就活の落とし穴はココだ！
- 就活には基本がある！絶対に内定をもらえる就活方法とは
- 就活ですぐ確認すべき10ポイント！
- 周りの就活生に差をつけるお役立ち情報5選 + おまけ1選
- 終わりに

■はじめに

コロナの影響で、大規模な就活イベントが中止になり、オンラインでの就活が主となっております。

オンライン就活イベントにも様々な種類がありますがzoomのブレイクアウトルームを利用した交流イベントが全体的に多い傾向にあります。

以前から企業説明会といえば、質疑応答の機会があるものの、企業からの説明が主たる内容でした。

そのため、オンライン化への移行はスムーズに進んだと言えます。

完全にオンラインでの実施に切り替えた企業もあり、このオンライン就活を制するものが、今年の就活を制すると言えます。

このオンライン就活丸わかりガイドによって、是非オンライン就活のコツをつかんで下さい。

■これまでの就活とオンライン就活の違い

これまでの就活と言えば、学生が企業に出向いて、受付けをし面接の控え室で他の就活生と情報交換しあうこともありました。企業は面接時に学生の第一印象や聞く姿勢、質疑内容などを評価しますが、面接が始まる前の学生の姿も確認することができました。

つまり、企業に赴いた段階から選考がスタートしているということです。

オンライン化により、面接前の人物評価はできなくなりました。もちろんオンラインの画面上で就活生が話を聞く姿勢（学生によっては画面オフケースもあり）は確認できますし、質疑内容も注視できます。

しかし、面接以外の印象評価（対面して初めて感じる雰囲気など）は影響度が薄くなっています。

ここで大事なところは、やり方が従来と異なるものの、企業から選考されるポイントは変わっていない点です。

■ オンライン就活の落とし穴はココだ！

・実は採用側もよく分かっていない

実は、会社側もオンライン就活については手探り状態であり、オンラインって何なんだという戸惑いがあるのは就活生側と同じなのです。

まずはお互いに初心者であることを意識すればオンライン就活に臨む緊張感もほぐれるのではないのでしょうか。

・オンラインに惑わされるな

オンライン就活になったところで、会社が選考するポイントは変わっていません。

従来の就活から変わらない基本をおろそかにしては、何事も上手くいきません。

・「面接ではあんなに上手く行ったのに、どうして採用されないの？」

その1

採用担当がいいと思っても、採用されない場合があります！

採用実務上、面接現場にいなかった「上」を納得させる必要があります。

その際、面接結果だけではなく、学生の提出資料も大事になります。採用決定権者が納得しやすい、具体的なエピソードを用意しましょう。歴史がある会社ほど、この傾向が強いことを知らねばなりません。

・「面接ではあんなに上手く行ったのに、どうして採用されないの？」

その2

中小企業などでは、個人間のやりとりを重視しています。

マル秘情報★大阪会場で以下の詳細をお伝えします★

「企業には採用用のプラットフォームがあり、

そこでの個人間でのやりとり状況は全て採用担当に報告され、

その情報が重視されています」

・「面接ではあんなに上手く行ったのに、どうして採用されないの？」

その3

「SNSを見られていることを意識せよ！」

大学1年生から就活は始まっている」

このように言われるのは確かですが、これは採用担当個人の考え方によるところも多いので、やっていないところは全くやっていません。

ただ、現在はオンライン化の影響で、対面評価ができないために、SNSをチェックすることで人物評価を補おうと考える企業も増えて当然と言えるでしょう。

恐れすぎる必要はありませんが、節度ある使用を心がけましょう。

■ 就活には基本がある！絶対に内定をもらえる就活方法とは

就活には基本があります。

それを押さえていけば、「あなたを採用したい！」と人事は思うのです。

□ 自己分析

最初に自己分析をしましょう。自分が仕事に何を求めている

か、どんな環境なら活躍できるかを自覚することで、志望する

業界や企業が決まります。

まずは過去の経験から、自分の性格や価値観、興味がある分野、

得意なことなどを洗い出します。その上で、自分に合った

業界や企業を探しましょう。

□ 業界分析

次に業界分析をしましょう。自己分析で見えてきた、興味がある

業界について調べます。どんな仕事をするか、将来性は

あるかなど、業界の事情を知った上で、本当にその業界を

目指すか考えましょう。

志望業界が決まれば、その業界にどんな企業があるかを調べ

ます。企業を複数調べて、比較することで各社の特徴が見えて

くるはずですよ。

□ インターンシップの参加

業界・企業分析に役立つのがインターンシップです。

インターンシップの開催時期は各社で異なりますが、8月・2月が多いです。

インターンシップに参加するために選考を通過しなければならない場合もあります。

また、現在はオンライン完結型のプログラムも多くあります。

いずれにしても早めに調べておくのがいいでしょう。

インターンシップで採用担当・社員の目に留まれば、

選考で有利になるケースもあります。

□ OB・OG 訪問

OB・OG 訪問とは、企業で働く OB・OG にアポをとって、話を聞かせてもらうイベントです。

OB・OG 訪問も業界・企業分析に効果的です。

これが今はリモートワークになっている場合はオンラインでの面談相談をしていきましょう。

企業研究をしていて気になった点や、採用試験を受ける前に

確認しておきたいことなどを質問しましょう。説明会や

インターンシップの様な公的な場ではないので、個人的な

相談や突っ込んだ質問もしやすいです。

ただし、採用実務においては、質疑応答の詳細は採用担当に報告するのが基本です。

その点は頭の片隅に入れておきましょう。

■ 就活ですぐ確認すべき 10ポイント！

(1) インターネット回線や PC を準備

止まらない有線によるインターネット接続を使うか

安定した Wi-Fi 環境をつくりましょう。

(2) Web 面接の練習を友達同士などで実施

まず事前に練習するだけで、本番でのトラブルを未然に

防ぐことができます。

(3) 家族など同居する人へ面接時間の共有

事前に伝えておくことで、不用意な乱入に

備えることができます。

(4) カメラを固定し、カメラ映りをチェック

カメラを目線と同じ位の高さに置く。

(逆光は画面が暗くなります)

(5) マイク付きイヤホンを準備する。

音声が確実に耳に届き、こちらの声も相手に伝えることができるのです。

(6) オンラインでの表情やこちらの気持は10分の1になると

思っていて下さい。いつもより少し元気なくらいでは、

その心は伝わりません。いつもの表情では採用側には予想

以上に暗く映ってしまうのです。

いつもの10倍の笑顔でいる意識でいて下さい。

(7) 一生懸命メモをとり、教えてもらったことに対して目を

輝かせて話を聞く姿勢を見せる。

受け入れる力が試されるのは従来と同じです。

しかし、ずっと下を向いている人もありますので、それ

だと聞く姿勢を疑われてしまいますので、顔を上げて、

カメラを見据えるように意識しましょう。

(8) 自分がこれまでの人生でやってきたこと、取り組んできた

ことなどを可能なかぎり振り返りましょう。

思い出だけでなく、文字にしておくことが大事です。

(9) 参加企業の HP などを確認し、ビジネスモデルやサービスの

研究をする

企業研究することが大事であることは今までの就活と同じ

です。

(10) 業界や企業に関連するニュース等を調べておく

ニュースサイトになる検索機能で、志望企業がメディアで

どのように取り上げられているのかを調べるのが容易に

できます。

しかし、意外とできていないことが多く、面接官に低評価

をつけられる就活生が多くあります。

■ 周りの就活生に差をつけるお役立ち情報 5 選 + おまけ 1 選

①人工知能（AI）マッチング

②ダイレクトリクルーティング

③ソーシャルリクルーティング

④ミートアップ

⑤逆求人採用

以上、5 選はあなたの就職活動の幅を広げてくれることでしょう。

ぜひご自身で調べてみてください。

就活は情報戦とも言われます。

有益な情報は自分を助けてくれること間違いありません。

そして、+ おまけ 1 選は就活口コミサイトです。

企業にとっては厄介な存在ですが、就活生にとっては貴重な情報源にもなります。

例えば面接を受ける場合、前日に他の就活生が同じ企業の面接を受けたとしましょう。

昨日の面接では面接官が何人いたか、どんな質問があったか等を知ることができます。

全てを鵜呑みにするのは危険ですが、有益な場合もあるので上手に活用しましょう。

■ 終わりに

就活のテクニックに頼るのではなく、基本的なところを押さえておくだけで、多くの就活生より抜きん出ることができます。

就職は人生の一部です。

この人生の一部である就活を勝ち抜くには、
人生を俯瞰した就活をする必要があります。

就職後も人生はまだまだ続くのです。

この就活丸わかりガイドがあなたの就職活動の力になれば
幸いです。

ご質問、就活相談があれば、最寄りのL大スタッフまで
お声かけ下さい。